

# アクティブラーナー

誘い合い登校への議論

2019.04.15

No.64

校長 渡邊 幸二

先週は、月曜日の入学式から始まった、そして学級開きの大切な3日間もあった長い長い1週間だったと思います。金曜日の夕方はくたくただったのではなかったでしょうか。本当にお疲れさまでした。

そんな12日(金)、私と淳先生が、地域の会合へ出席するため6時15分過ぎに学校を出ようと職員室に来てみると、なんとそこでは会



議が開かれていました。AチームでもBでもない、**公益・貢献活動推進チーム**のメンバーの声掛けによる**主体的な会議**だったのだと思います。働き方改革に逆行していると組合に叱られそうですが、集まっている先生方の何か熱い思いを感じ、そのままにしてコミセンに向かいました。

私は、4月1日の第1回目の職員会議(資料:校長室だよりNo58)において

今年度の浜田小学校の組織自体、あまり先例のない新しい試みです。当然、手探りで仕事だったり、遠回りになってしまったり、あるいは見直しの連続だったりすることでしょう。きっといつも「どうしたらいい?」と迷いや悩みが生じることでしょう。申し訳ありません。(もしかすると「臨時打ち合わせ」が増えるかも…)

そんな時は、すぐ誰かにきく前に、まず自ら考えてみてください。教師自身、自らがアクティブラーナーとして悩み、考え、表現・発信することが自己成長のためには非常に重要です。そこではじめてインタラクション(相互交流)が起こり、新たな知恵・アイデアの創造につながるのだと思います。まずは「やってみる!」そんな組織人であってほしいと思います。

と訴えました。それが、こんなに早く、その姿を目の当たりにするとは思いませんでした。こんな遅くの時間帯の会議、本当はみなさんくたくただったのかもしれませんが、本当は「そろそろやめよう」と管理職として声掛けしなければならなかったのかもしれませんが、どうしてもそれができませんでした。私はもう、先生方の課題解決に向けた真摯な態度やチーム浜田の熱いエネルギーに感動してしまい、ありがたいやら嬉しいやら…もちろん、その代替の休養を取っていただいたり、エネルギーの補給をしていただいたりはしますが、この姿が誇らしくて仕方ありません。もちろん今後は可能な限り勤務時間内での会議を設定していただきますが、このアクティブラーナーとしての姿が嬉しくて仕方ありません。

8名の先生方、本当にお疲れさまでした。そして、心から「ありがとうございました」を言いたいと思います。



**臨時の全校集会**  
2019.04.15

